

べいぐんところざわつうしんきちについて

米軍所沢通信基地について



TOKOROZAWA

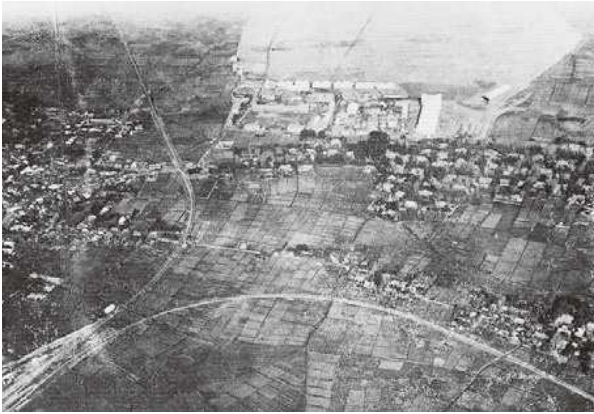
ところざわしきちたいさくきょうぎかい
所沢市基地対策協議会
ところざわし
所 沢 市



わが街、所沢にアメリカ軍の基地があるのを知っていますか？
 所沢市のほぼ真ん中に約97万㎡ (=約97ヘクタール)という広い基地があるのです。
 では、どうしてアメリカ軍の基地が所沢にあるのかを紹介します。



1911(明治44)年に軍用として気球や飛行機の研究を進める必要があったために、日本で最初の飛行場として所沢飛行場ができたのです。



大正時代初期の所沢飛行場(写真上部)

所沢飛行場には、飛行機の操縦方法や整備方法などを学ぶための航空学校や飛行機をつくる工場がありました。



写真は航空技術学校(昭和7年ごろ)

所沢飛行場は、時代とともに次のように広がっていきました。

1911(明治44)年の開設時
 <できたとき>

76.3ヘクタール



1917(大正6)年<第二期拡張>

192ヘクタール



1933(昭和8)年<第三期拡張>

245ヘクタール

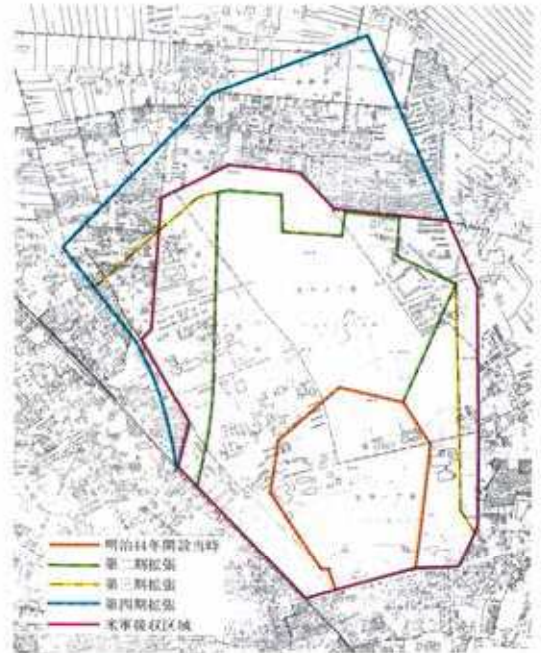


365ヘクタール <第四期拡張>



1945(昭和20)年に
 アメリカ軍のものとなったとき

300ヘクタール



1945(昭和20)年に第二次世界大戦が終わり、
所沢飛行場はアメリカ軍のものとなり、所沢基地と
なったのです。



上空写真(昭和36年ごろ)

所沢基地は、通信施設のほか、兵器などの部品なども多く扱う
兵器廠や薬などを他の基地に分けるための医療廠と呼ばれるもの
もありました。

また、アメリカ軍が基地を使う
ようになってから、軍人とのト
ラブルなどがおきたり、コンク
リートなどで地面を固めたため
に雨水が基地の外にあふれたり
することもありました。



所沢市の発展とともに、人口も増えて基地の周りにも多くの住宅などが建ち、まちづくりを進める
上でも市の中心に基地があることが大きな問題となってきました。
そのため、署名運動(賛成であるということでも多くの人から名前を
集めること)や市民大行進などが行われて、市民と市議会と市が
一緒になって基地を返してほしいということを訴えました。

そうした中、基地の全てを返してほしいということをもくとして、
1968(昭和43)年に市民、市議会、市で組織する「所沢市基地
対策協議会」ができました。協議会では、現在でも返還活動(基地
を返してもらうための活動)や基地についての問題などを話し合っ
ています。



当時の基地正門前(現在の航空記念公
園南側入口)を通過する市民大行進
(昭和42年)





○第1次返還

返還活動(基地を返してもらうための活動)により、1971(昭和46)年に300ヘクタールあった基地の191ヘクタールが日本に返されました。この返された場所は、航空記念公園をはじめとして、市民体育館、市民文化センター、小学校(美原、中央)、中学校(美原)、高校(所沢北、所沢中央)、防衛医科大学校・病院、税務署、警察署、郵便局、市役所や団地などとして利用されました。また、航空公園駅も新たに造られたのです。

○第3次返還

1982(昭和57)年には道路用地として1.35ヘクタールが返されました。基地の北側の道路が一方通行から対面通行2車線にひろがったのです。

○第2次返還

1978(昭和53)年に学校などの教育施設の用地として9.75ヘクタールが返されました。現在、並木小学校や並木保育園、中央中学校などがある場所です。



第3次返還以降については、粘り強い返還運動と要望活動(お願いすること)の結果、平成24年2月、東西連絡道路建設用地(P5の※参照)について日米間で返還合意されました。今後は、基地内の施設の移設工事などが行われた後、返還を経て東西連絡道路の工事が進められる見込みです。

また、そのほかに以下の2点の部分的な返還についてもお願いしています。

- ①文教通り線拡幅用地(基地の西側の道路を広げるための用地)の返還
- ②日米共同使用スポーツ広場用地(だれでも使える広場)の解放

※返還…かえしてもらうこと





げんざい きち
現在の基地はどのようになっているの？

げんざい きち ひろ やく まん ひろ せいば きゅうじょう
現在の基地の広さは約97万㎡です。この広さは、西武ドーム球場の
やく こぶん にもなります。基地では、ほか きち おおわたつしんじょ
約25個分にもなります。基地では、他の基地(大和田通信所)で受けた
でんぱ ぐん ひこうき おく つうしんぎょうむ
電波をアメリカ軍の飛行機などに送るなどの通信業務をしています。
基地には、さまざまなアンテナがあります。
どのようなアンテナがあるのか、見てみましょう。



●マイクロウェーブ鉄塔
基地のほぼ真ん中に高い鉄塔
があります。この鉄塔は、「マ
イクロウェーブ鉄塔」と呼ば
れるもので、横田基地(福生市
などに位置する)と大和田
通信所(新座市に位置する)と
の通信用として1978(昭和
53)年に建てられ、高さは、
電波が狭山丘陵を越えるため
115mあります。



●モノコーンアンテナとスパイラル
アンテナ

ひこうき つうしん おこな そうしん でんぱ
飛行機との通信を行うための送信(電波
を送る)アンテナです。無指向性アンテ
ナという全方向に電波を飛ばすアンテ
ナです。(写真はモノコーンアンテナ)



●コニカルモノポールアンテナ
アンテナの働きとしては、モ
ノコーンアンテナやスパイラ
ルアンテナと同じ全方向に
電波を飛ばす無指向性のアン
テナです。



●ログペリオディックアンテナ

ひこうき つうしん おこなう そうしん でんぱ
飛行機との通信を行うための送信(電波
を送る)アンテナで、気象(天気)などに
より電波が届かない場合に指向性(送る
方向を決められる)のあるこのアンテナ
を使います。



基地のあゆみ(年表)



西暦	年号	主なできごと
1909年	明治42年	日本の航空の研究のため「臨時軍用気球研究会」がつけられる。
1911年	明治44年	日本で最初の飛行場として所沢飛行場ができる。 最初の飛行が徳川大尉によってアンリ・ファルマン機で行われる。
1913年	大正2年	木村・徳田両中尉が日本最初の飛行機による犠牲者となる。
1941年	昭和16年	太平洋戦争が始まる。
1945年	昭和20年	第二次世界大戦が終わる。旧陸軍(昔の軍隊)のものであった所沢飛行場は、米軍のものとなった後、「在日米陸軍所沢兵站センター」として使用される。(300.8ha)
1950年	昭和25年	市制施行(所沢町から所沢市になる。)
1967年	昭和42年	基地全面返還市民大行進が行われる。
1968年	昭和43年	市、市議会、市内各界の代表からなる「所沢市基地対策協議会」ができる。
1971年	昭和46年	第1次返還として、現在の市役所や航空記念公園などがある並木一丁目から八丁目(六丁目を除く)にあたる区域(191.88ha)が返還される。
1978年	昭和53年	第2次返還として基地南側の現在の並木小学校や中央中学校などがある並木六丁目の一部(約9.75ha)が返還される。 県立航空記念公園(一部)開園
1982年	昭和57年	第3次返還として基地北側の道路を広げるための土地(1.35ha)が返還され、それまでの一方通行の道から2車線の対面通行となる。
1987年	昭和62年	航空公園駅が業務を始める。新市庁舎(市役所)で業務が始まる。
1990年	平成2年	所沢市平和都市宣言ができる。
1994年	平成6年	所沢基地返還運動推進大会が行われる。
1996年	平成8年	アメリカの国務省を訪れ、国務長官に返還をお願いする。
2006年	平成18年	国に対して東西連絡道路建設用地※の返還をお願いする。
2012年	平成24年	東西連絡道路建設用地の返還について日米合意がされる。

※「東西連絡道路建設用地」…現在の基地は南北に長いので、基地のほぼ真ん中で東西に結ぶ道路を建設するための土地です。

知っているかな？
豆知識コーナー

ところざわ ひこうじょう つく ちけい
所沢に飛行場が造られたのは、地形
が平ら、落雷が少ない、高圧線(鉄塔)
がなかった、東京から近いなどの理由
からです。他の候補地は、栃木県
大田原市、宇都宮市、千葉県千葉市、
神奈川県相模原市などでした。

ところざわ ひこうじょう
できたばかりの所沢飛行場は、
飛行機が4機ほどしかありません
でした。
そのため滑走路(幅50m、長さ
400m)は、1本だけでした。

ところざわ し こうくう はっしょう ち よ
所沢市が「航空発祥の地」と呼
ばれているのは、日本で初め
て飛行場ができ、航空学校な
どもできたからです。

ところざわ ひこうじょう はじ ひこう き と
所沢飛行場で初めて飛行機が飛
んだのは、明治44年4月5日
でした。アンリ・ファルマン機が
高さ10m、距離800m、1分20秒間
飛びました。

こうくう きねん こうえん ない ひこう き
航空記念公園内には飛行機が、2
機(航空発祥記念館を除く)展示
されています。入間基地で使用され
ていたC-46という輸送機(昭和
55年設置)とYS-11という国産の
旅客機(平成9年設置)です。

き ち あと ち こうくう きねん こうえん
基地跡地である航空記念公園には、
記念碑や像があります。日本で最初
の航空犠牲者となった「木村・徳田
両中尉記念碑」や航空技術を教えた
「フォール大佐像」、「少年飛行兵の
像」などがあります。



米軍所沢通信基地は、今までに70%程度が返され、跡地には、市役所、市民文化センター、警察署、航空記念公園などの施設ができ、私たちの街の中心的な役割をしています。

しかし、今でも97万㎡という広い面積の基地が市の中心にあるため、所沢市のまちづくりの妨げとなっています。このため、市と市議会と基地対策協議会では、

『基地全面返還は市民の願い』

をスローガンに返還を求めています。



写真は所沢飛行場で初めて飛んだ飛行機である「アンリ・ファルマン機」です。

所沢市基地対策協議会

事務局：所沢市 企画総務課 基地対策室

電話：04-2998-9033

E-mailアドレス：a9033@city.tokorozawa.lg.jp

イラスト：北条恵都子さん(市内在住)

写真協力：喜多川写真館(市内御幸町)